

海水浴シーズンを前に

皆様こんにちは。日ごとに暑くなり、夏が近づきつつあるのを実感できる季節となりました。

さて、夏と言えば海水浴。

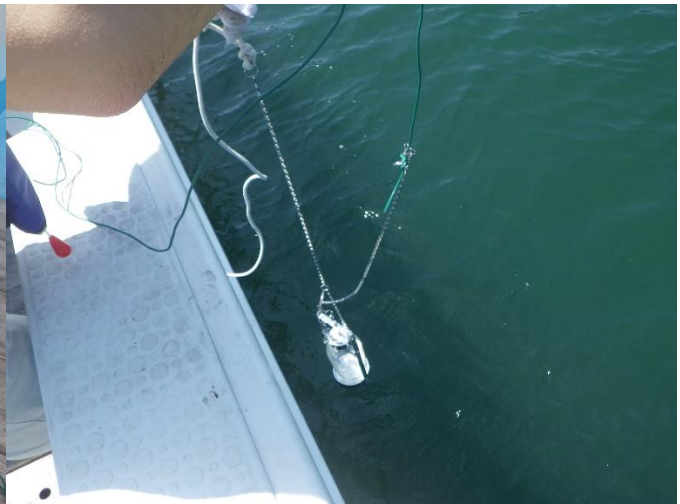
海水浴をするには、水着とスイカが必要となりますが、それはお客さんのお話です。受け入れる側の海水浴場では、海水浴シーズンを前に、海水の衛生状態を確認するため、水質検査が実施されています。

そこで、水質検査を実施する為に、県小田原保健福祉事務所の方が本船に乗船し、真鶴町岩及び湯河原海水浴場の海水を採水することになりました。

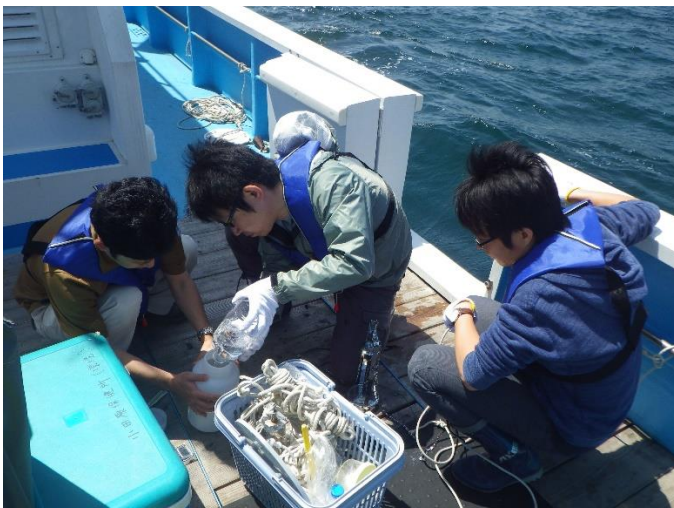
検査項目として、ふん便性大腸菌群数、COD（化学的酸素要求量）※、腸管出血性大腸菌O-157、pH、海水の放射能濃度について調べるとのことです。



採水器（写真左）を使って…



この様に採水をします。



採れた水は容器に移し…



アイスボックスへ。

※ COD（化学的酸素要求量）：海水中に含まれている有機物量を調べるための指標。この値が大きければ、有機物が海水中に多く含まれていることになる。

今回は、海水浴場の水質検査が目的ですが、この検査は、私たち水産技術センターが漁場環境を知る上で、重要な指標としても使うことができます。

つまり、一回の手間で、二つ以上の効果が見込める訳です。

このように、出来る限り省力化を図りつつ、従来と同様の効果が得られるよう、他の部局とも連携をするなど、日々工夫を凝らしております。

引き続き、皆様のご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。